

履歴書

住民表記記事項証明書、在留カードのとおり氏名を記載し、振り仮名を記載すること。ただし、カンマ(,)と半角アポストロフィ(')は使用不可。

は、ドロップダウンリストから選択すること。

ふりがな	ひろしま たろう		性別	
氏名	広島 太郎		性別	男
生年月日	1963年2月23日 (年度末年齢 50 歳)			
	〒 7 3 3 - 5 1 9 3	必ず西暦で記入年月日及び生年月日を記入。		
	広島県広島市佐伯区三宅2-1-1			
電話番号	(自宅) 0000-0000-0000	(携帯) 090-1111-1111	学歴は省略せず全て記入。転・編入学した場合は学校等名称の後に(○年次転・編入)と記入。休学期間がある場合は、学校等名称の後に改行して(休学 年月日～年月日)と記入。	
メールアドレス	××××××@××××.××.××			

写真貼付

作成日前6月以内に撮影した鮮明な写真(白黒・カラーどちらでも可、上半身、正面向、脱帽)

タテ 3.5 ~ 4.0
×
ヨコ 3.0 ~ 3.5

学歴

年号は、全て西暦で記入。

(4) 高等学校	年	月	学校等名称(学校、学科)		修了区分
	1981	3	〇〇高等学校普通科		卒業

(5) 大短大 短大 高等専門学校 専門学校等	年	月	年	月	学校等名称(学校、学部、学科、コース)	修了区分	
	1981	4	~	1985	3	広島工業大学 工学部 〇〇工学科	卒業
			~				
			~				

(6) 大学院	年	月	年	月	学校等名称(学校、研究科、専攻・講座・課程)	修了区分	
	パターン① 休学期間のある場合						
	1985	4	~	1988	3	〇〇大学大学院〇〇学研究科 〇〇〇専攻 博士前期課程 (休学 1986年4月1日 ~ 1987年3月31日)	修了
パターン② 修了見込みである場合 ※「学位」の取得学校名欄に「(見込)」を記入すること。 ※取得できなかった場合には速やかに連絡すること。							
	2000	4	~	2003	15	〇〇大学大学院〇〇学研究科 〇〇〇専攻 博士後期課程	修了見込

(7) 学位	年	月	学位区分	学位名称	取得学校名
	1988	3	修士		〇〇〇〇〇〇大学
	2003	3	博士	博士(工学)	〇〇〇〇〇〇大学(見込)

資格・免許

ドロップダウンリストから該当する区分を記入。該当する区分がない場合は、「その他」を選択。

(8) 免試資格等	取得年月日		名称	有効年月日		
	年	月		日	年	月

【学校法人 鶴学園 履歴書No2.記入上の注意点】

No.1に氏名を入力すると自動的に表示される

氏名

職歴等		所属組織	職名	職務・研究従事内容	勤務態様
自 至	年 月 年 月				
1990	4	〇〇大学大学院〇〇研究科〇〇専攻〇〇分野 (日本学術振興会)	日本学術振興会特別研究員	〇〇〇〇に関する研究	有期
1993	10				
1993	11	〇〇大学大学院〇〇研究科〇〇専攻〇〇分野	研究員	〇〇〇〇に関する研究	有期
1993	11				
1993	12	無職			
1994	3				
1994	4	株式会社〇〇〇〇〇 〇〇〇部〇〇〇課	契約事務職員	経理に関する一般事務	有期
1996	3				
1996	4	〇〇大学〇〇学部〇〇〇〇学科	非常勤講師	「〇〇概論Ⅱ」「〇〇学」の講義を担当	有期
1998	3				
1998	4	株式会社〇〇 〇〇研究所 〇〇プロジェクトチーム	主任研究員	〇〇に関する研究開発	正規
2008	3				
2008	4	〇〇大学〇〇学部〇〇〇〇学科	助教	「〇〇概論Ⅱ」「〇〇学」の講義を担当	有期
2011	3				
2011	4	〇〇大学〇〇学部〇〇〇〇学科	講師	「〇〇概論Ⅱ」「〇〇学」の講義を担当	正規
現在に至る					

会社等の場合は部課名等、研究機関等の場合は研究室等まで記入。
派遣社員等はカッコ内に派遣元の組織を記入。

所属組織等から通知された正式な職名又は職位を記入。
下記の他、教授、特任教授、准教授、主任、正職員、パートなど。

始期、終期が同月内の場合は、同じ月を記入。

◎注意事項

記入に当たっては、「履歴書記入要領」をよく読んでください。

署名は、印刷後、直筆で記入すること。

本履歴書記載内容に相違ありません。

署名